



## 星に願いを……七夕祭り兼納涼祭



(石川理事長が、挨拶で、入居者の願いを込めた短冊を読まれ……)

清々しい夏空の下、七月六日(休)毎年恒例の愛美会合同七夕祭り兼納涼祭が行われました。

開会式では、石川理事長より「入居者・ご家族の皆様を支えられ、正に愛美会の歴史と共に歩んできたこの納涼祭も、早十六回目を迎えました。」と、これまでを振り返りつつ、一人一人の願いが込められた短冊を紹介し、「皆様の想いを、お星様が叶えて下さることを願います。」との挨拶がありました。

今年も入居者の皆様と職員が一緒に作成した四個のくす玉をはじめ、ケアハウス虹の里玄関前には、高さ六mを超える巨大笹飾りを含めた計十七本の竹に、入居者の皆

様の願いを込めた短冊を飾り付けました。

中には趣味を生かして、想いを俳句や川柳で表現される方もおられ、風流な夏のひとつときを彩ってくれました。

納涼祭では、樋谷荘の入居者を皮切りに、ここぞとばかりに愛美会計五名の喉自慢がカラオケを行い、調理スタッフや事務職員がサービスする洋食焼きや焼きそば、かき氷などに皆様、舌鼓をうちました。

終盤に「愛美会が誇る花火師(男性職員)」が打ち上げ花火をあげ、最後に広場で、入居者・ご家族・職員が輪になって、手持ちの花火を行い、愛美会全体がまるで一家



(願いを込めた笹飾り)



(利用者・職員と一緒に作成したくす玉)

族のような温かい雰囲気の中、終了となりました。



(大勢の入居者の方が参加)



(只今、熱唱中!!)

こうして、今年も総勢約二百八十名の皆様にご参加いただき、改めて地域の皆様とのつながりを深く感じることが出来ました。

これからも、愛美会の伝統を守り、皆様の意見を幅広く取り入れていきたいと思えます。

たくさんのご家族の皆様に参加いただき、ありがとうございました。

## 介護保険は私たちにお任せ下さい!!

居宅介護支援事業所 ひのたに



(「ひのたに」のケアマネジャーです)

「居宅介護支援事業所 ひのたに」では、私たち介護支援専門員（ケアマネージャー）が介護保険の手続きから介護計画の作成までお手伝いさせていただきます。

介護計画（ケアプラン）の作成に当たっては、サービスを利用される皆様の「どの様な生活をしたいのか」という思いに添った援助の内容となるように、十分にコミュニケーションをとる事を心掛けています。制度の中心は、私たちではなく、あくまでもサービスを利用される方々です。

一人一人のご利用者を真ん中において、在宅生活の継続やその方らしい生活の実現に向けて、関連事業所も含めたスタッフが丸となり取り組んでいるところです。

今、国では来年4月からの介護保険制度改革のための検討を行っていますが、介護保険は、ますます複雑で分りにくい制度に変わろうとしています。介護認定の受け方やサービスの利用に関する事等、介護保険に関わるどんな事でも私たちが丁寧に分りやすくお答えしますので、お気軽にお声掛け下さい

居宅介護支援事業所 ひのたに ☎0896-56-6888 担当:三鍋・保利

## 今年も樋谷荘に夏がやってきた!!

今年も暑い夏がやってきました。夏といえばやっぱり「ビアガーデン!!」毎年希望者を募り出かけておりますが、今年は6月30日に7名の皆さんと共に行って参りました。

おいしいお酒やお料理を思い思いにおなか一杯食べられ、皆さん大満足。自然と笑顔がこぼれます。当たり前前の事を当たり前前にできる事の大切さを皆さんの笑顔を見るたびに痛感させられています。

「七夕まつり」のほか、「紙まつり」や「盆おどり大会」「敬老行事」と、これからは毎月イベントが続きますが、普段の当たり前前の生活の充実にもきちんと目を向け、ご利用者の皆様が楽しく心豊かに毎日を過ごせますよう、今後もお手伝いさせていただきます。



※「盆おどり大会」は8月10日に予定しております。踊り連の他、職員と共に模擬店や入居者の付き添い等のお手伝いをしていただけるボランティアを募集しています。ご希望の方がいらっしゃいましたら、下記までご連絡をお願いします。

特別養護老人ホーム「樋谷荘」 ☎56-2333 生活相談員:大西咲子

## ケアハウス虹の里 ひだまりホールで映画鑑賞!!

ケアハウスの4Fには、地域交流スペースとして、約100名の方が一同に介することが出来るホールがあります。ボランティアの方々の慰問をはじめ、カラオケや読書、或いは会議や勉強会といった様々な用途にあわせ利用されています。

今年1月からは、土曜・日曜の午後から新たにビデオ映画の上映会を行なうようになりました。はじめての試みに不安もありましたが、入居者の皆様の反応は上々で、“毎週楽しみにしてるよ。次はどんなものを見せてくれるん？”と声をかけられ、一安心しました。今一番の人気は、NHKが放送している「その時、歴史が動いた」です。その他には、「男はつらいよ」等の人情ものが人気ようです。これからも入居者の皆様の好みに耳を傾けながら、興味のある見たい映画を上映していきたいと思えます。地域の皆様も是非一度、施設見学を兼ねて、土・日曜の午後から上映しておりますので、お気軽にお越し下さいませ。

入居に関する詳しいお問い合わせは下記担当者までどうぞ。



※ケアハウスの4Fひだまりホールで映画鑑賞会

☆ ケアハウス虹の里 ☆ TEL 58-0012 担当：児山・星川

## グループホーム虹の里恒例の家族親睦会を実施!!



去る6月24日(金)にグループホーム虹の里の恒例行事となりましたご家族との親睦会が行なわれました。今回は、石川理事長も飛び入り参加され、なごやかな雰囲気の中、楽しい一時を過ごすことができました。

年2回、夏と冬に実施されている親睦会は、利用者がグループホームでどのような生活をされているか、また、ご家族の方が気になる事をざっくばらんに話し合える場を設ける為に実施しています。利用者もご家族も職員もお互いが何でも話せる環境を作りたいと考え、始められたものです。

当日は、昼過ぎから早くも準備に取り掛かりました。職員と利用者が一緒になり準備を進めます。

“むかしとった杵柄”という言葉がありますが、たとえ、最近の事柄を忘れてしまっても、長年やってきた家事は、身体が覚えているものです。若い職員に負けない包丁さばきを披露しながら料理の準備をします。その出来栄にご家族も驚くばかりです。

コミュニケーションだけでなく、昔の記憶を呼びさますリハビリにもなります。目的意識を持つことは、我々職員だけでなく、高齢者にとっても重要なことであると改めて思いました。



## アイリス全職員が参加し勉強会を行いました。

アイリスでは、平成13年度から5つの委員会を設け、業務の改善や問題点を様々な職種で話し合い、又ご利用者・ご家族の声を反映し、より質の高いケアの提供を目指しています。

その委員会の1つに、職員が外部に研修に行った際又は、自分自身が何かテーマを持って勉強したことを、自分だけの知識とせず職員全体に発表を行う等、職員1人1人が職種にとられない、幅広い知識を持つことを目標としている「勉強会委員会」があります。

その委員会が中心となり、「是非あの講師の講義を聞きたい」との職員の要望を取り入れ、去る5月10日(火)に大阪から介護総合研究所「元気の素」代表の上野文規氏を迎え、新しい介護の考え方をテーマに、実技を交えた講演会を開催しました。



(介護総合研究所「元気の素」 上野 文規氏)

### (講師プロフィール)

- ・介護分野の第1人者、三好春樹氏と共に、「生活リハビリ」を提唱し、日本全国で生活リハビリ講座を展開。
- ・主体性や意欲を引き出す“遊び”と“リハビリテーション”を融合させた「遊びリテーション」の第1人者。
- ・全国を講演で飛び回るかたわら、福祉施設の総合プロデュースも手掛ける。
- ・「遊び井」、「老人ケアの達人たち」、「遊びリテーション学」、「新しい痴呆ケア」等数多くの著書を発刊。

「なるべく多くの職員が同じ意識の元で講義を受けよう」と集まった人数は、夜勤等を除いた64名とほぼアイリス全職員が参加しました。

講義の内容は、介護の基本を中心としたもので、ご利用者の方の今までと今をよく知ることから始まり、1人1人に合ったイスの高さがあり、イスを替える事で歩行機能が改善されたケースがある等、普段の何気ない生活に着目することから始まりました。

又、実技については、ベッドからの移乗や、イスからの立ち上がり方法等で、介護者の力はほとんど使わずに、方向、バランス、タイミングを重視し、ご利用者の今持っている力をうまく引き出す、画期的な介助法でした。

上野講師も講義に熱がはいり、予定時間を約1時間オーバーし、終了となりました。

改めて「介護とはどうあるべきか…」、職員1人1人が原点に戻り、自分自身や今までの業務を見直す良い機会となりました。今までの固定観念にとらわれず、ご利用者をもっと違う視点からみつめることにより、本当にその人にあった関わり方を考えて行きたいと思います。

次回は自立支援の介助実技を中心とした講義を上野講師にお願いしています。

今後も現状に満足せず、ご利用者自身を主体とした介護を提供し、日々自己研鑽に努めていきたいと思ひます



(ベッドから車椅子への移乗)